

# 第7回評定制度研究会



## CSR評価について

---

### (株)インテグレックスの例

2005年3月24日

株式会社インテグレックス  
代表取締役社長 秋山 をね

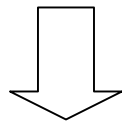


## 調査・評価の視点

---

「社会と共生」しながら

「持続的成長」をするための「競争力」を持つ企業への投資

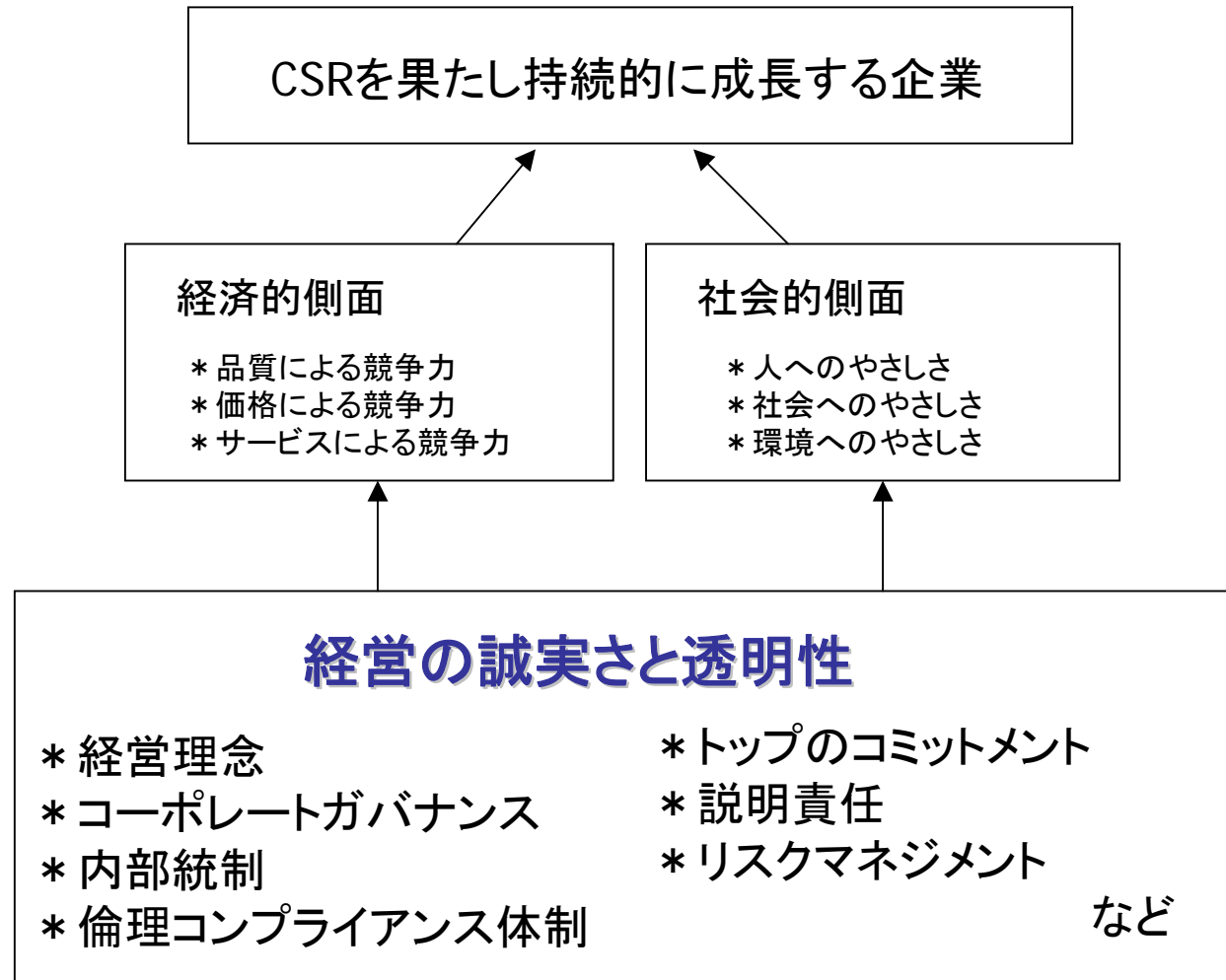


企業理念に誠実に事業活動を行うための

マネジメントのシステム を 重視して調査・評価



## 評価の考え方

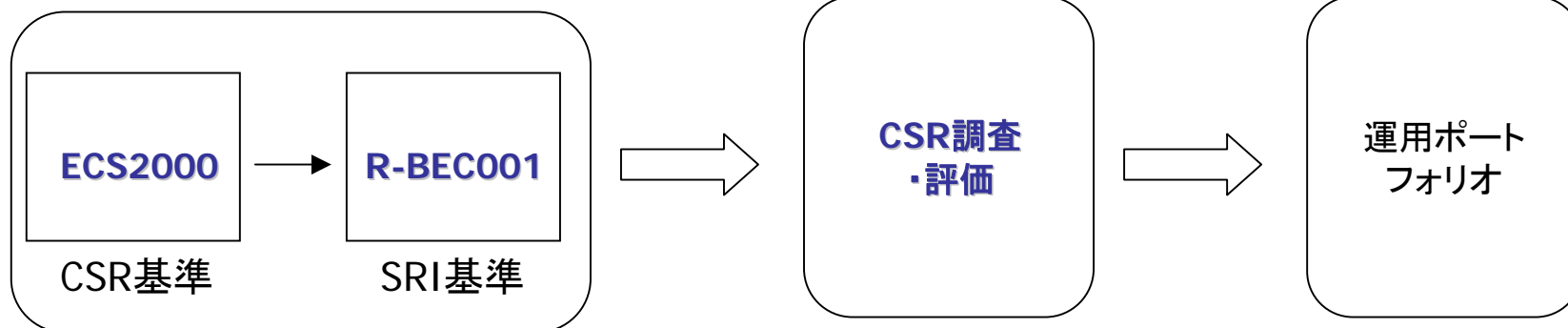


# 評価のベース

## CSR基準のECS2000 と SRI基準のR-BEC001

ECS2000 (Ethics Compliance Standard) は、PDCAサイクルに基づく倫理コンプライアンスのマネジメントシステム規格。R-BEC001は、それをもとに作成された倫理コンプライアンスへの取り組みを調査するための、膨大な設問集を含む包括的な枠組み。共に、麗澤大学企業倫理研究センター（センター長高巖教授）を中心とした有識者によるプロジェクトチームによりまとめられた。高教授は、CSRの規格化を決定したISOの高等諮問委員会（HLAG）に日本を代表して参加した。

麗澤大学企業倫理研究センターを中心とする  
有識者によるプロジェクトチーム



ECS2000、R-BEC001を  
基に調査票を開発  
企業調査・評価を実施

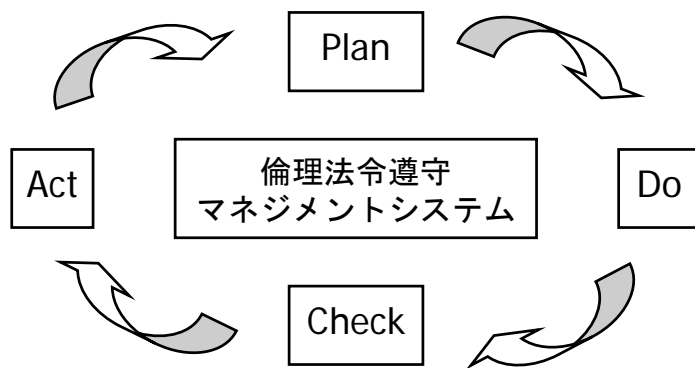
# ECS2000とR-BEC001

## CSR基準

### ECS2000

～倫理法令遵守マネジメントシステム

守るべき目標の規格化ではなく、目標を効果的に守るためのマネジメント・システムのあり方を規格化したもの



#### 目指すもの

- ・ **インテグリティ(誠実さ、清廉さ、品格)の向上**
- ・ **理性と良心が働く仕組み**
- ・ **自らを律する能力**
- ・ **自らが掲げた目標に進む能力**

## SRI基準

### R-BEC001

～マネジメントシステムを評価

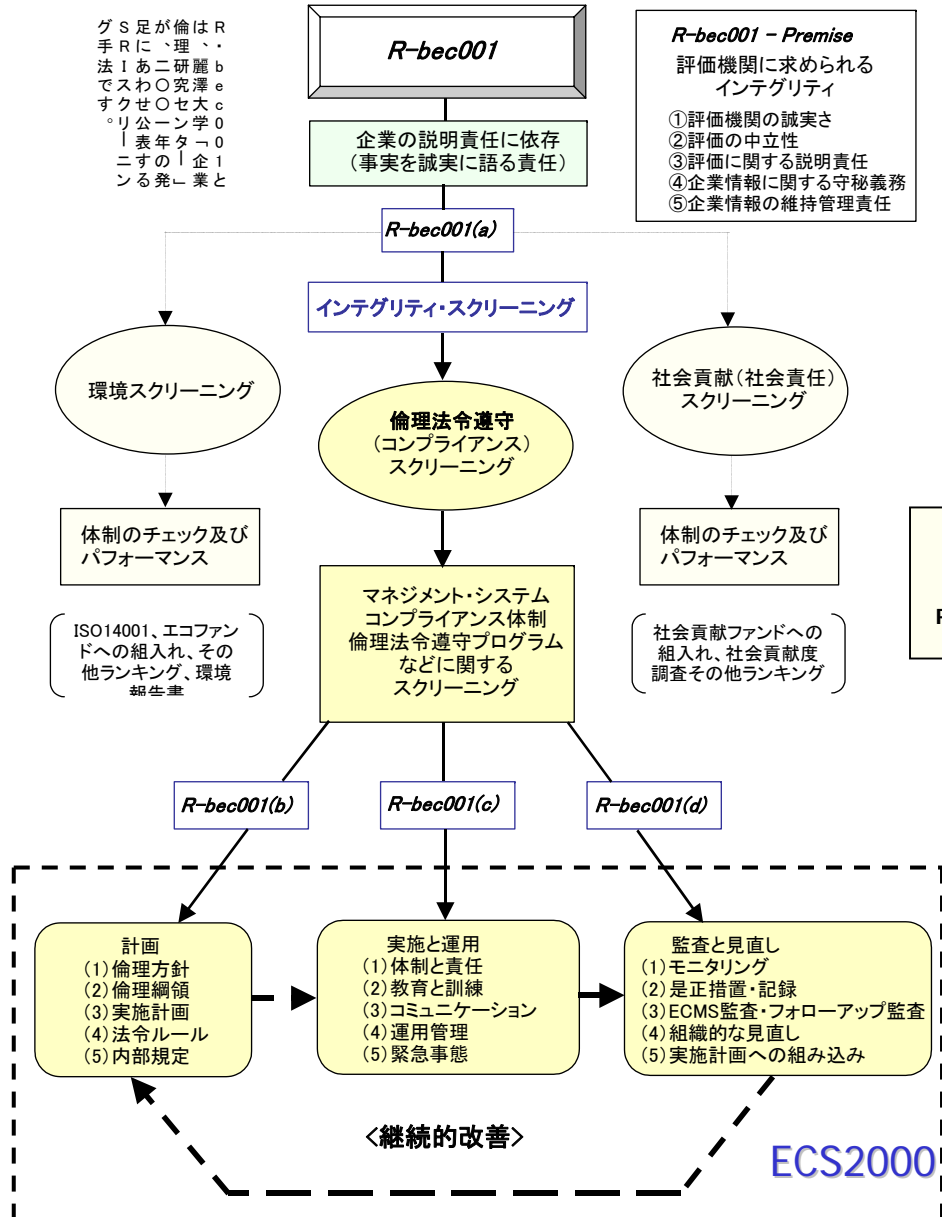
ECS2000をベースに、プロセスに注目して評価

#### 評価8項目

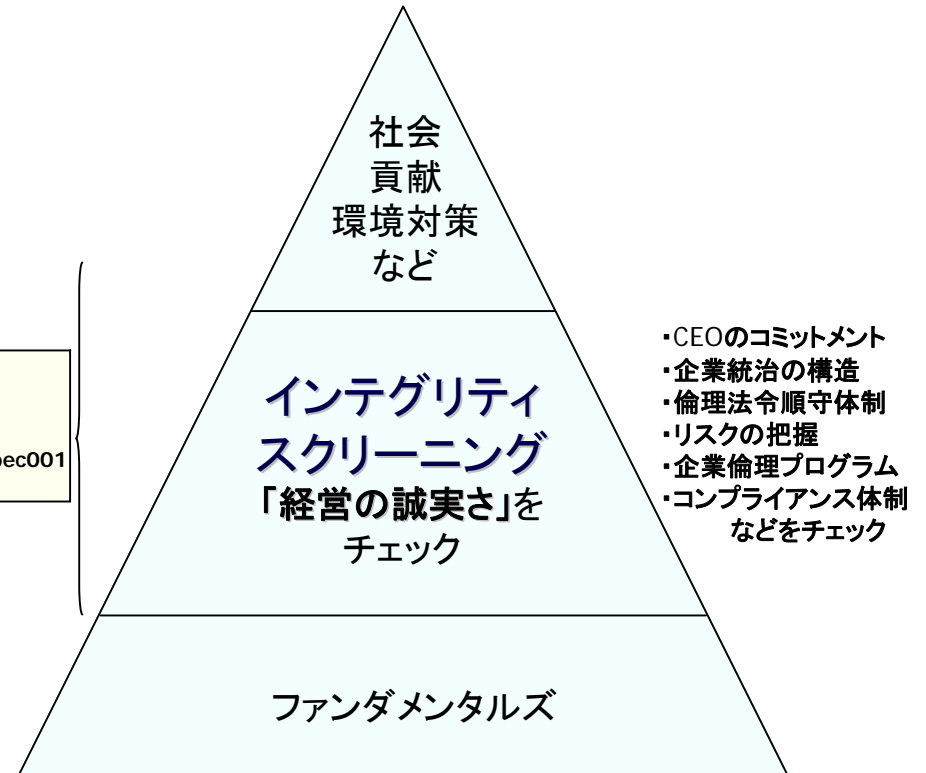
- 1 経営トップのコミットメント
- 2 リスクの洗い出し、把握
- 3 リスク対応のための社内文書  
(ドキュメンテーション)
- 4 周知
- 5 コミュニケーション
- 6 監査・チェック
- 7 緊急事態対応
- 8 経営層主導による見直し

# ECS2000とR-BEC001 - 2

## 全体構造



## スクリーニングの 考え方





## R-BEC 評価機関にもとめられるインテグリティ

---

- 1) 評価機関の誠実さ
- 2) 評価の中立性
- 3) 評価に関する説明責任
- 4) 企業情報に関する守秘義務
- 5) 企業情報の維持管理責任 – 被評価会社に対する責任
  - ① 説明責任
  - ② 目的の明示
  - ③ 被評価会社の承諾
  - ④ 情報収集の制限
  - ⑤ 情報の使用、開示、保管の制限
  - ⑥ 情報の正確さ
  - ⑦ 情報に対する保護措置
  - ⑧ 被評価会社への公開性
  - ⑨ 自社情報へのアクセス
  - ⑩ 被評価会社による異議申し立て



# インテグリティを担保するための施策 (当社の例)

## 経営のチェックー経営諮問委員会の設置

当社が行う業務の中立性・公正性を維持するために、社外の有識者により業務プロセスのチェックを受け、経営の透明性を高め、誠実さを確保することを目的に経営諮問委員会を設置

## 調査の中立性の確保ー外部監査の導入

当社のCSR調査および評価が、R-BEC001が求める調査機関への要求事項に従い公正かつ誠実に実施されているかということに対する外部監査の実施と保証の取得

## 調査に関する説明責任ー評価のフィードバック

調査の目的・用途の明示と、評価結果の当該企業へのフィードバックを実施





## 調査対象および調査票

### 調査対象(2004年度 第4回調査)

### 回答企業数

2004年5月16日現在全上場企業	3,695社	801社
内、金融機関(銀行、証券、保険会社)	159社	55社
東証1部上場企業(金融機関以外)	1,466社	520社
東証1部以外市場上場企業	2,070社	226社

### 調査票 (R-BEC001を基に作成)

- 「トップ」 社長/最高経営責任者宛て=CSR(企業社会責任)について
- 「MS」 コンプライアンス・法務宛て=CSRのマネジメントシステム(MS)について
- 「IR」 IR・広報宛て=CSRに関する取り組みについて

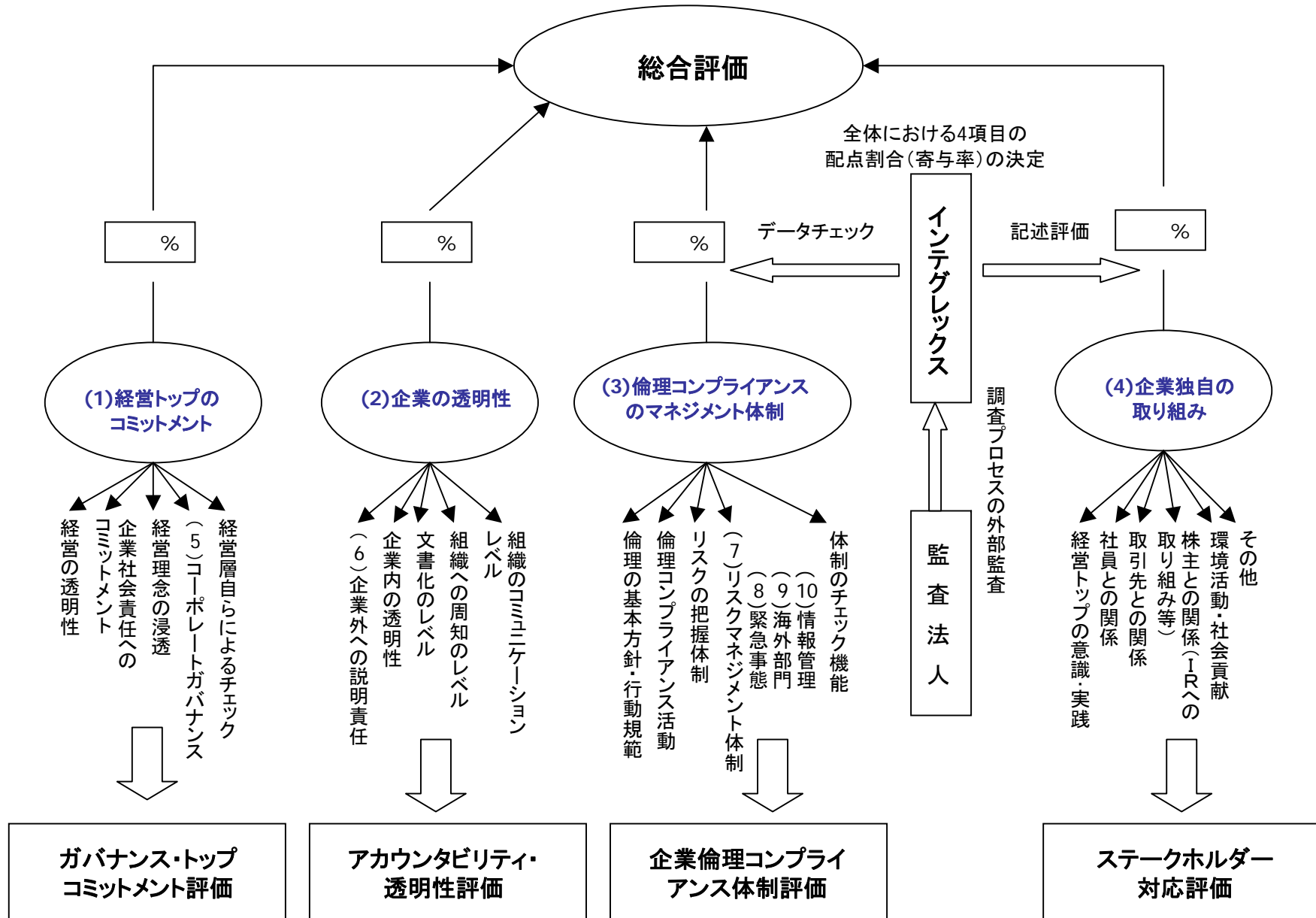


## 調査票「MS」 設問の流れ

---

- 1 経営理念、行動規範について
- 2 コーポレートガバナンスについて
- 3 倫理・コンプライアンス活動について
- 4 倫理・コンプライアンスに関するコミュニケーション体制について
- 5 ステークホルダーについて
- 6 緊急事態について
- 7 倫理・コンプライアンスの社内的なチェックの仕組みについて
- 8 倫理・コンプライアンスに関する経営層による見直しについて
- 9 情報管理について
- 10 日本国内の子会社について
- 11 海外のグループ会社について

# 評価(モデル図)



# 当社調査レポート (例)

## インテグレックス調査レポート 1 企業の誠実さ・透明性(倫理性・社会性)調査

分類	調査対象社数	
全体	607	社
東証一部上場(除 金融)	311	社
小売	48	社
大規模	80	社

レ	トップ+IR+マネジメントシステム
	トップ+マネジメントシステム
	IR+マネジメントシステム
	マネジメントシステム

### ■インテグレックス項目分析

#### 50-100点法による評価点

	区分別	順位	全体	順位	規模別	順位	業種別	順位
総合評価	96.1	点 9	92.0	点 13	91.1	点 8	100.0	点 1
1 トップのコミットメント	94.1	点 12	88.4	点 16	88.5	点 10	100.0	点 1
2 透明性	94.6	点 2	95.2	点 3	100.0	点 1	100.0	点 1
3 マネジメントシステム	84.6	点 13	85.5	点 25	78.7	点 13	98.7	点 2
4 特長的事項	94.3	点 7	95.1	点 8	92.2	点 5	100.0	点 1
5 コーポレートガバナンス	87.3	点 19	84.6	点 36	78.5	点 18	93.4	点 3
6 説明責任	100.0	点 1	97.0	点 2	100.0	点 1	100.0	点 1
7 リスクマネジメント	79.0	点 22	80.8	点 41	72.1	点 18	95.6	点 2
8 緊急事態	72.4	点 89	73.2	点 134	64.2	点 35	76.2	点 9
9 海外部門	64.1	点 69	62.9	点 92	55.1	点 27	76.5	点 4
10 情報管理	84.3	点 23	83.9	点 43	76.6	点 17	92.8	点 2

#### 100%表示による得点

	得点	区分別 平均点	全体 平均点	規模別 平均点	業種別 平均点
総合評価	81.6	46.9	42.1	57.9	35.5
1 トップのコミットメント	79.9	45.8	41.8	56.9	35.7
2 透明性	85.6	46.3	40.0	56.5	33.1
3 マネジメントシステム	79.0	48.0	43.8	59.7	37.3
4 特長的事項	84.4	50.2	43.9	60.5	36.5
5 コーポレートガバナンス	80.0	45.9	42.6	57.9	36.4
6 説明責任	88.2	49.4	41.8	58.9	33.4
7 リスクマネジメント	73.5	46.2	42.0	58.3	35.6
8 緊急事態	70.0	50.6	46.0	60.5	43.6
9 海外部門	64.7	53.2	52.4	61.4	51.5
10 情報管理	83.3	52.1	48.3	64.4	41.0

### ■R-sec項目分析(参考)

#### 100%表示による得点

	得点	区分別 平均点	全体 平均点	規模別 平均点	業種別 平均点
総合評価	74.2	45.7	42.3	57.6	36.9
1 トップのコミットメント	86.3	49.1	44.4	61.7	37.8
2 リスク把握	67.1	46.3	40.1	59.8	29.7
3 文書化	65.6	52.4	46.1	68.1	36.0
4 周知	95.2	55.2	51.3	68.7	50.4
5 コミュニケーション体制	83.3	39.4	41.9	49.2	43.5
6 チェック体制	50.0	31.4	30.3	44.3	21.9
7 組織対応	94.4	57.3	48.9	64.5	44.0
8 経営の見直し	51.9	34.7	35.4	44.8	31.6

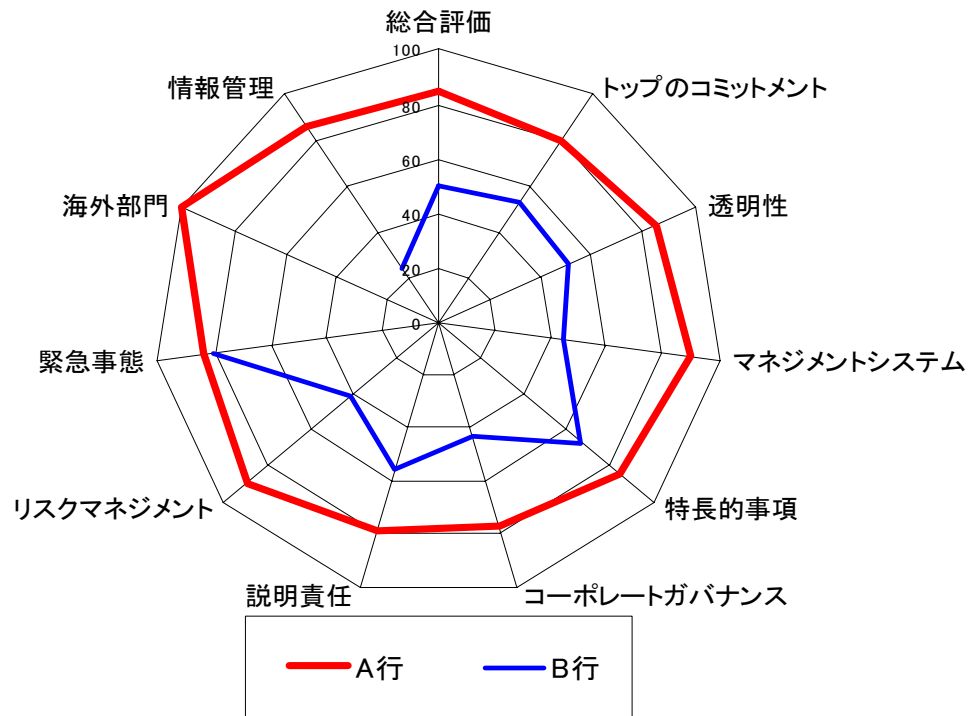
# 当社評価結果 例1

調査に回答すること自体、CSRに対する意識が既に高い企業と評価できるが  
回答企業間(同業種)で評価にかなりの格差がある

## 評価比較

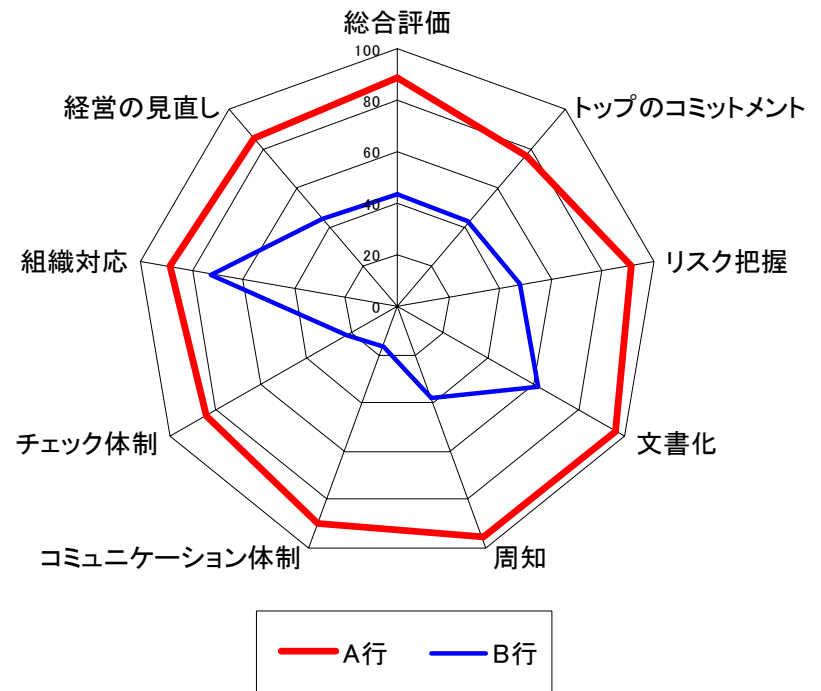
地方銀行A銀行(総合評価84.8 総合3位 銀行30行中2位)  
地方銀行B銀行(総合評価50.3 総合227位 銀行30行中22位)

当社評価項目による比較



\*B行は海外部門なし

R-BEC項目による比較

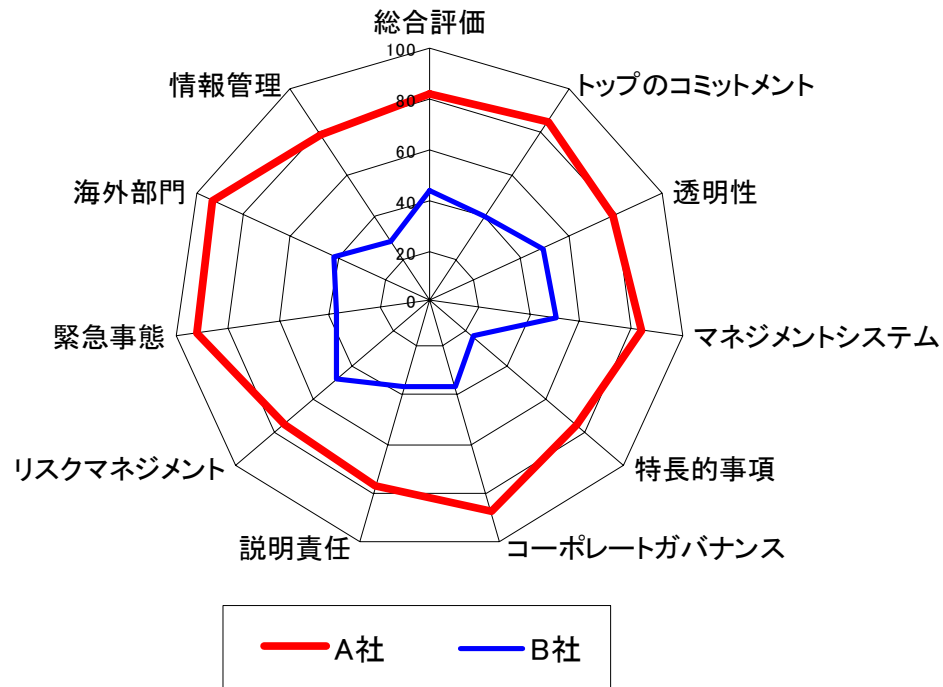


# 当社評価結果 例2

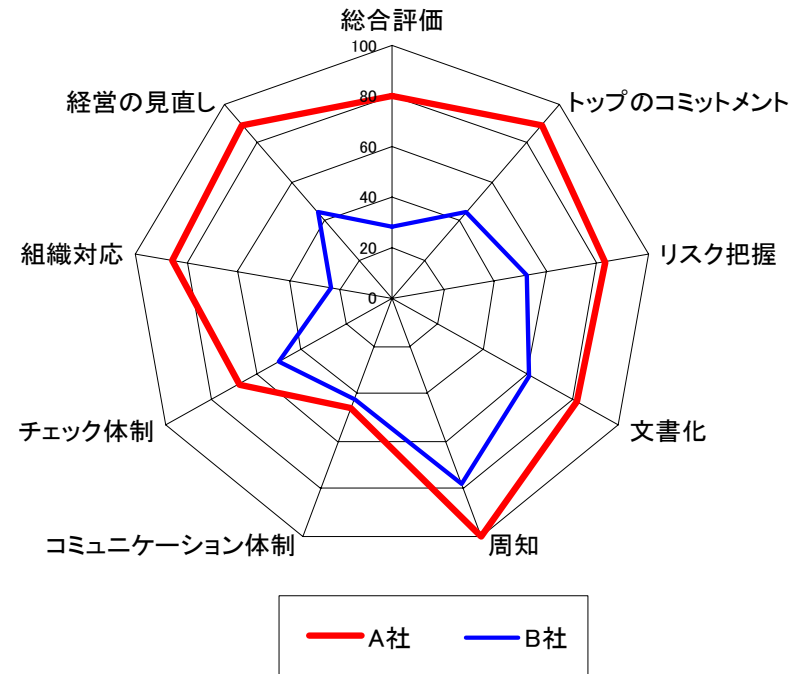
## 評価比較

製薬会社A社(総合評価82.0 総合10位 医薬品11社中1位)  
 製薬会社B社(総合評価43.3 総合291位 医薬品11社中10位)

当社評価項目による比較



R-BEC項目による比較

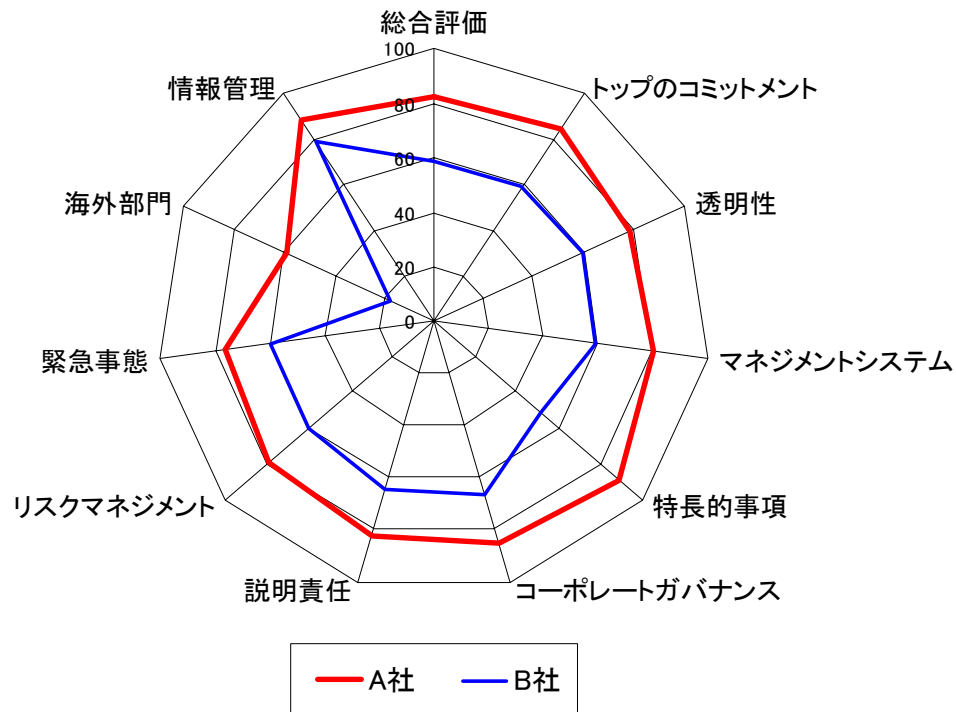


# 当社評価結果 例3

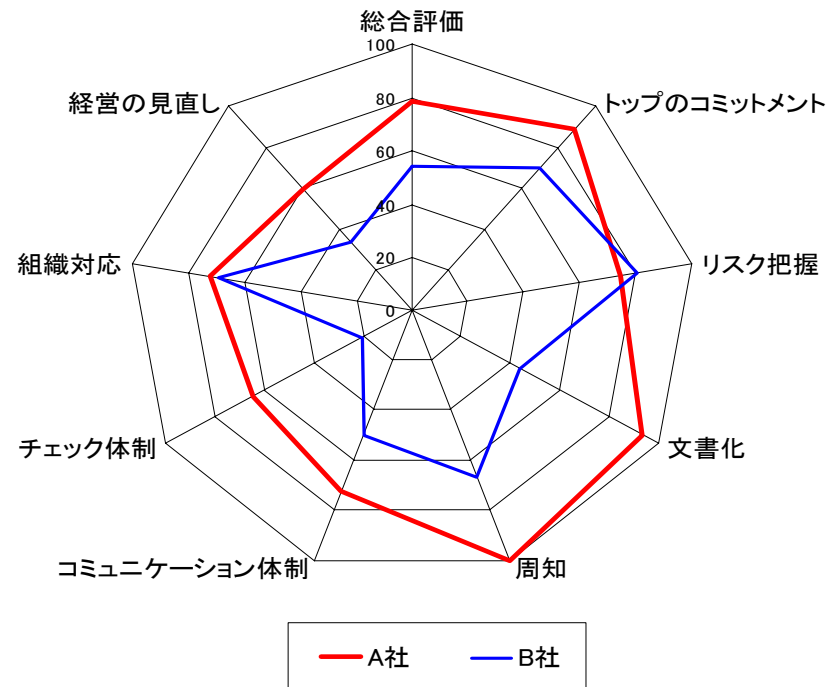
## 評価比較

電機通信大手A社(総合評価81.9 総合 11位 電気機器58社中2位)  
 電機通信大手B社(総合評価58.7 総合159位 電気機器58社中17位)

当社評価項目による比較



R-BEC項目による比較





# 緊急事態対応 1

調査にもとづく情報提供以外に、投資対象企業については、常にその状況をウォッチ  
投資対象企業において、その社会的評価に重大な影響を与える可能性のある事象(事故、事件、  
不祥事等を指し、決算予想の修正等の財務的な事象は除く)が発生した場合、以下の対応を行う

## 緊急事態対応の具体的な手順

- 1 当該企業に事実関係についての説明を求める
- 2 当該企業に再発防止策についての説明を求める
- 3 再発防止策にしたがった取り組みを展開しているかどうかを確認する

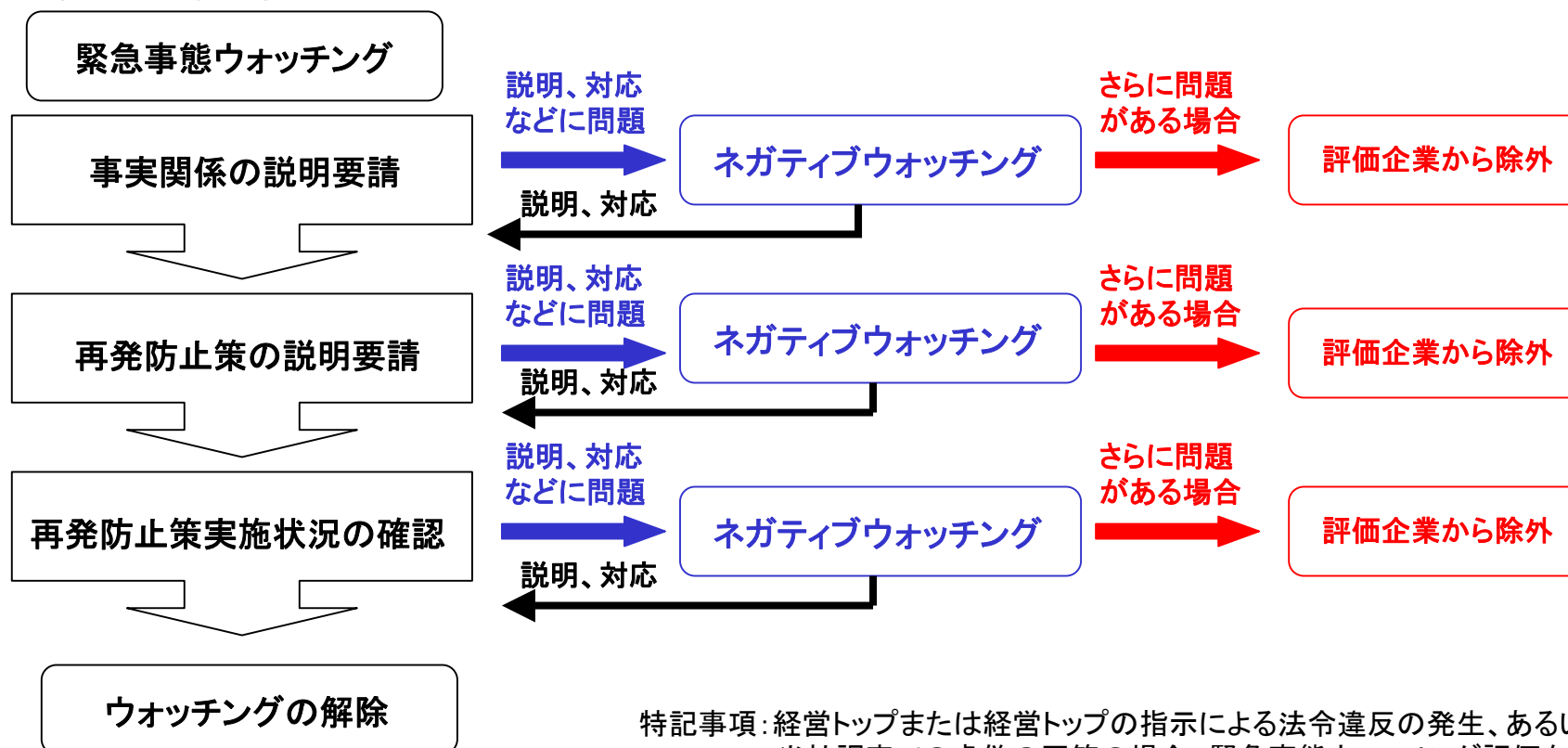
## 評価は3段階で行う

- 1 緊急事態ウォッチング評価 – 社会的評価に重大な影響を与える可能性のある事象が発生した場合。**売買は運用者の判断**
- 2 ネガティブウォッチング評価 – 説明、対応などに問題がある場合。**売買は運用者の判断**
- 3 **評価企業から除外** – 説明、対応などに重大な問題がある場合や当該企業の倫理性に重大な懸念があると判断される場合。**組入除外**



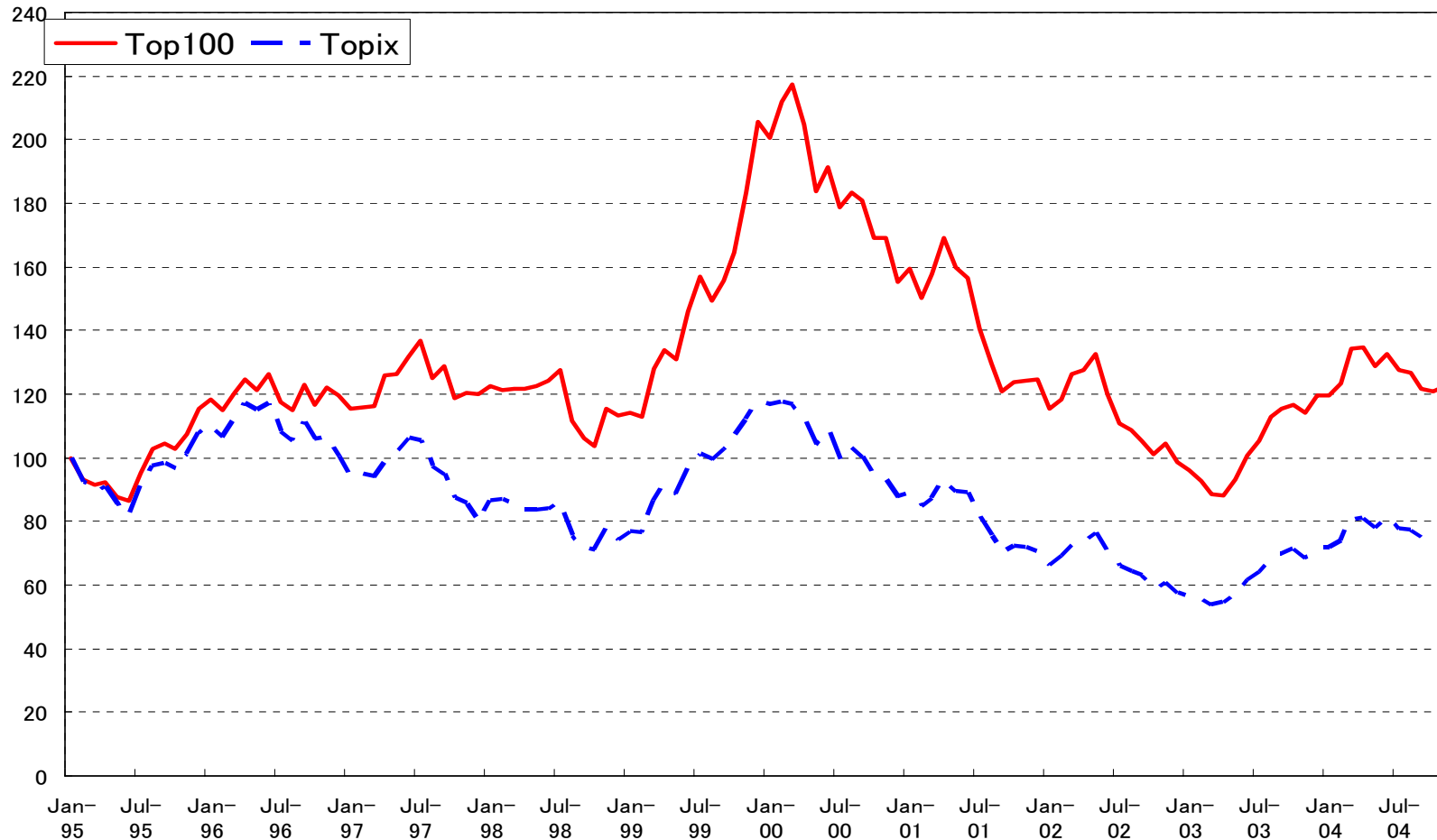
## 緊急事態対応 2

投資対象企業に緊急事態発生



特記事項: 経営トップまたは経営トップの指示による法令違反の発生、あるいは、当社調査での虚偽の回答の場合、緊急事態ウォッチング評価を飛ばし、ネガティブウォッチング評価を実施する

# 当社CSR評価上位100社株価パフォーマンス (バックテスト)



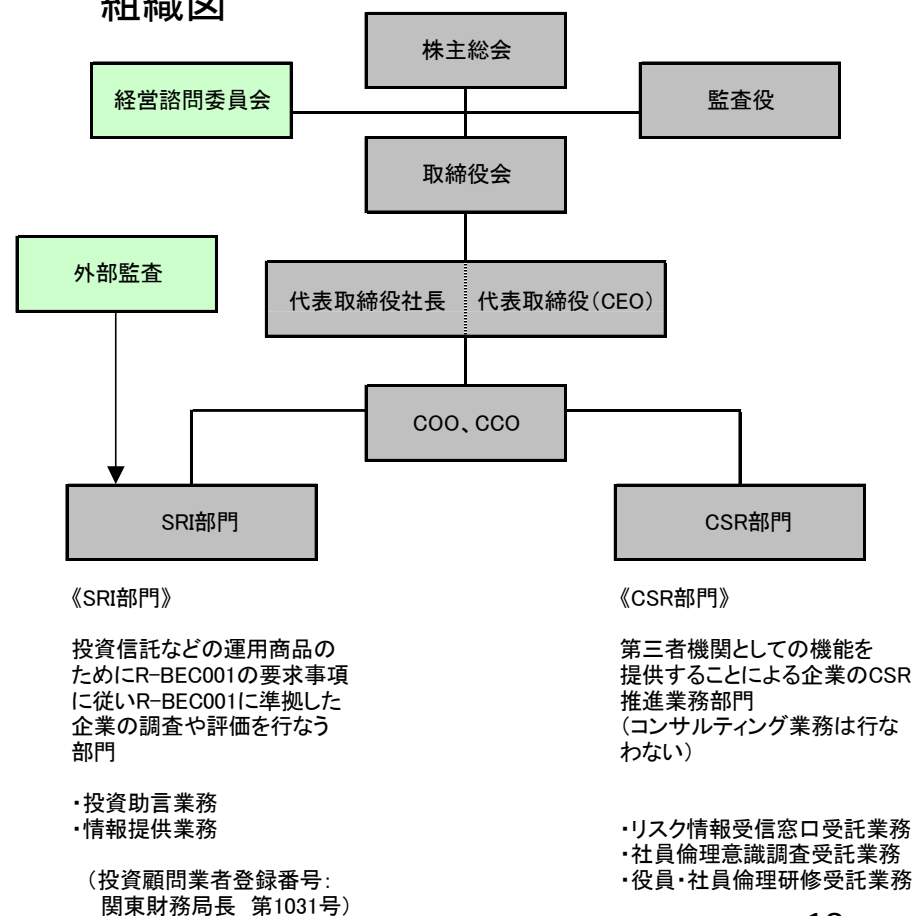
当社調査による評価上位100銘柄を1995年1月末に時価総額比率で投資したと仮定した場合の投資パフォーマンス  
 調査には企業の財務データは一切反映されていない  
 期間: 1995年1月末～2004年11月末 (1995年1月末を100として指数化)

# (株)インテグレックスの概要

## 会社概要

社名: 株式会社インテグレックス  
所在地: 東京都渋谷区恵比寿4-7-2 KBKビル3階  
電話: 03-5793-3205 FAX:03-5793-3207  
設立: 2001年6月  
資本金: 6,000万円  
事業内容: 社会責任投資(SRI)のための調査  
投資顧問業  
(登録番号: 関東財務局長 第1031号)  
企業社会責任(CSR)推進支援  
Eメール: info@integrex.jp  
ホームページ: www.integrex.jp

## 組織図



**「道徳なき経済は罪悪であり、  
経済なき道徳は寝言である」**

**二宮 尊徳**

**(「二宮翁夜話」 福住正兄)**